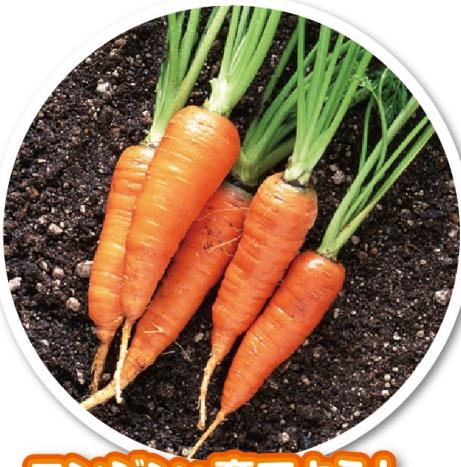
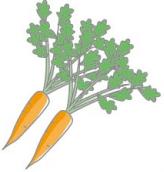
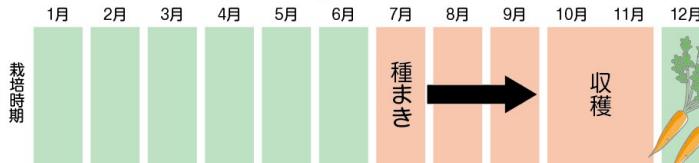


家庭菜園を楽しもう!



ニンジンを育てよう!

ニンジン ~カロテンで免疫力を高めよう~



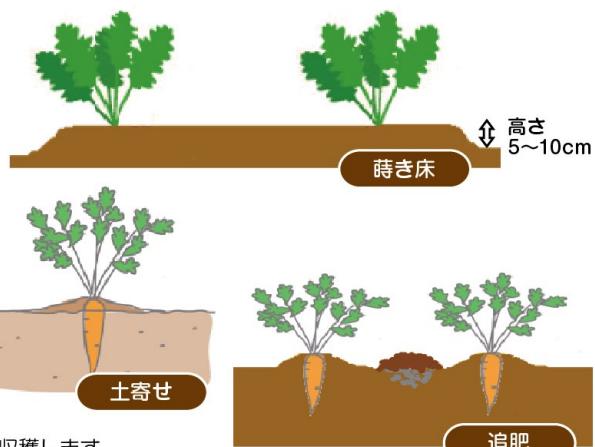
作者:ヤンマー農機販売(株)
宮崎(JGAP指導員)

主な品種	向陽二号、ベーター312、ひとみ五寸
栽培場所	作土が深く、水管理のしやすい場所(生育適温は15-25°C)
土づくり	根の発育の際に成長点が障害物に触ると、岐根(二股・三股...)の原因となります。障害物にならないよう、堆肥は前もって施用しておき、十分分解を終わらせておきましょう。また、ニンジンは酸性が苦手なので、土が酸性の場合は苦土石灰で中和します。

種まき

品種によって蒔き時があるので、時期にあった品種を選びます。

- ①まず、高さ5-10cm程度の蒔き床を作ります。
- ②ニンジンは発芽しにくいので、多少多めに1ヶ所5~6粒ほど蒔きます。
- ③ニンジンの種は発芽に光を必要とするので、覆土は浅く均一にします。まいたら、土の上から軽く押して土とよく密着させます。
- ④発芽までは乾燥しないよう、水管理に気をつけます。
乾燥が気になる場合はワラ等を敷き、乾燥を防ぎましょう。



間引き

間引きは2回に分けて行います。水やりをしておくと、湿って土が軟らかくなり、周りの株に影響少なく間引けます。

1回目の間引きは本葉2枚ごろに行い1ヶ所3~4本に、2回目の間引きは本葉5枚ごろに行って1ヶ所1本にします。

追肥

間引き後はうね間に肥料を与えて、中耕します。

土寄せ

2回目の間引きが終わった後、土寄せをして肩が露出しないようにします。
露出した部分は緑化してしまうので、注意しましょう。

収穫

種まき後3~4ヶ月が収穫適期です。根の太り具合を見て、大きくなったものから収穫します。

ニンジンには水管理が重要です! 本葉5-6枚の時期までは水管理をしっかりと、地上部を生育させることがニンジン栽培のコツです!

ニンジンを知ろう!

ニンジンの種類は大きく東洋種と西洋種に分けられます。一般に出回っているのは五寸ニンジンに代表される、栄養価の高い西洋種ですが、五寸ニンジンの他にもお正月によく見る金時、沖縄の在来種の島ニンジン、黄色い品種の金美など様々な品種があります。苦手な人も多い独特のにおいを減らして甘みを増したものや、使いやすいミニサイズのものなど、扱いやすいよう品種改良が進んでいる野菜の1つです。

ニンジンといえば独特的のオレンジ色をしていますが、このオレンジ色の色素は**β-カロテン**で、緑黄色野菜の中でもニンジンは圧倒的なβ-カロテンの含有量を誇ります。「カロテン」の名も英語の「キャロット」からついたと言われているほどです。

β-カロテンは体内で**ビタミンA**に変わって体の免疫力を高めるととも

に、老化の原因である活性酸素を除去する働き(**抗酸化力**)もあります。また、ビタミンAは**粘膜を正常に保つ働き**があり、皮膚や口や目などの表面を健康に保つ作用もあります。

β-カロテンは熱に強く、油と組み合わせると体内での吸収率がアップするので、過熱調理がおすすめです。

また、ニンジンはビタミンCを壊す酵素アスコルビナーゼを含んでいるので、ビタミンCに富んだ野菜と一緒に生のニンジンを食べるときは、この酵素の働きを抑制するために酢と一緒に摂るようにしましょう。

ニンジンは葉の部分も栄養豊富で独特の香りが楽しめるので、根だけでなく葉っぱの部分も天ぷらや炒め物などにして、ぜひ食べるようにしましょう!

ニンジンを食べよう!

甘さを活かして煮物にしたり、にんじんご飯としてご飯と炊き込んでも彩りがきれいです。

β-カロテンを効率良く吸収したいときには油で炒めたり、ビタミンCを摂りたいときは酢を使ったり、狙いに合わせて調理するのも楽しいですね。

ニンジンは葉も栄養豊富なので、天ぷらや炒め物にしてぜひ食べましょう!

野菜づくりのことならおまかせください。この幟が目印のお近くのヤンマーのお店まで



「JGAP指導員」とは…JGAP(ジェイギャップ)とは、食品事故などの問題を農場が起こさないよう、未然に防ぐための農場管理方法です。JGAPで定められた基準を満たした農場は、安全な作物を作っている証明として『JGAP認証』を得られます。

JGAP指導員は、JGAP認証取得のお手伝いをする資格です。

次号VOL.5は タマネギ についてです!

